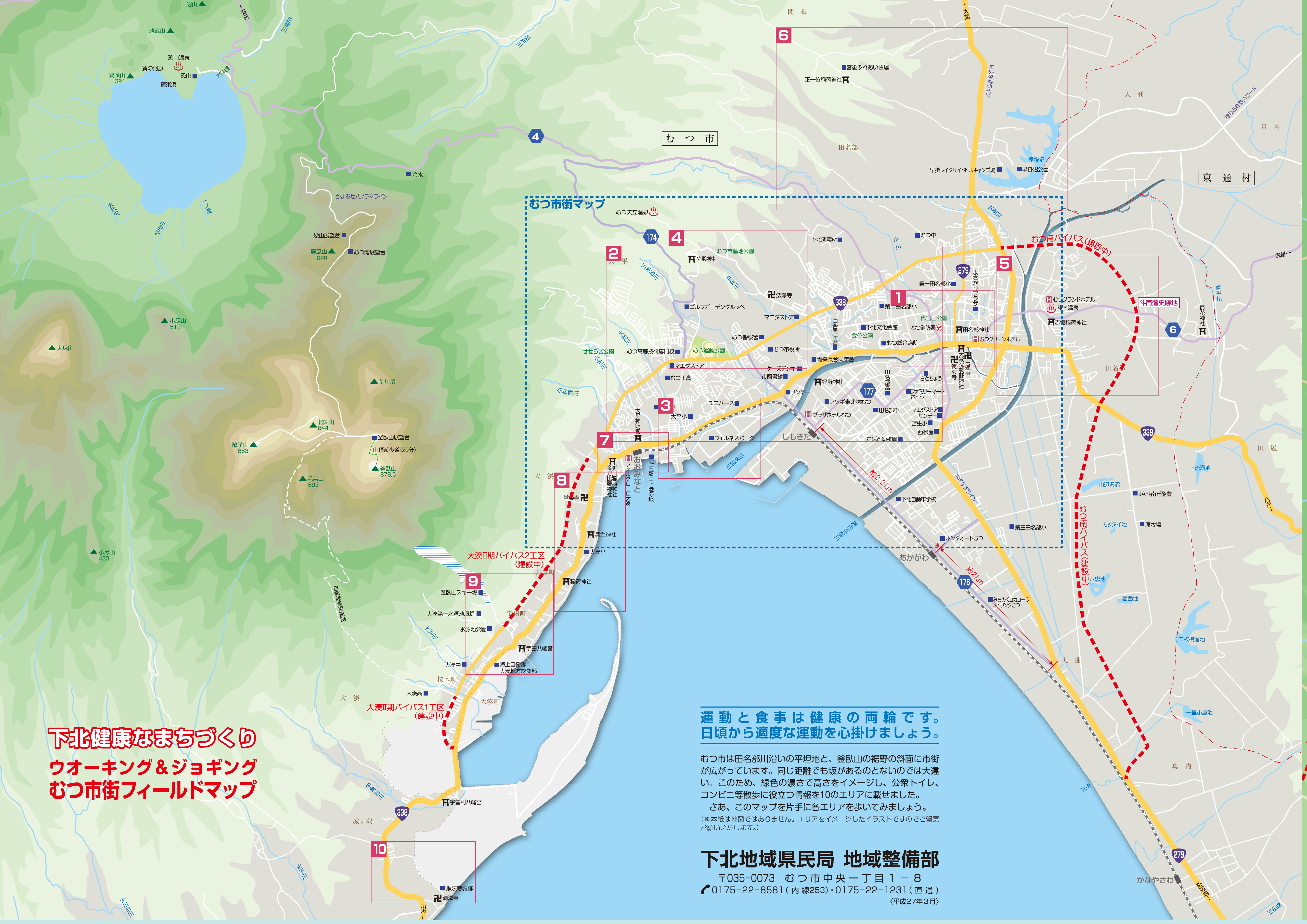
下北健康なまちづくり
ウォーキング＆ジョギング
むつ市街フィールドマップ



運動と食事は健康の両輪です。日頃から適度な運動を心掛けましょう。

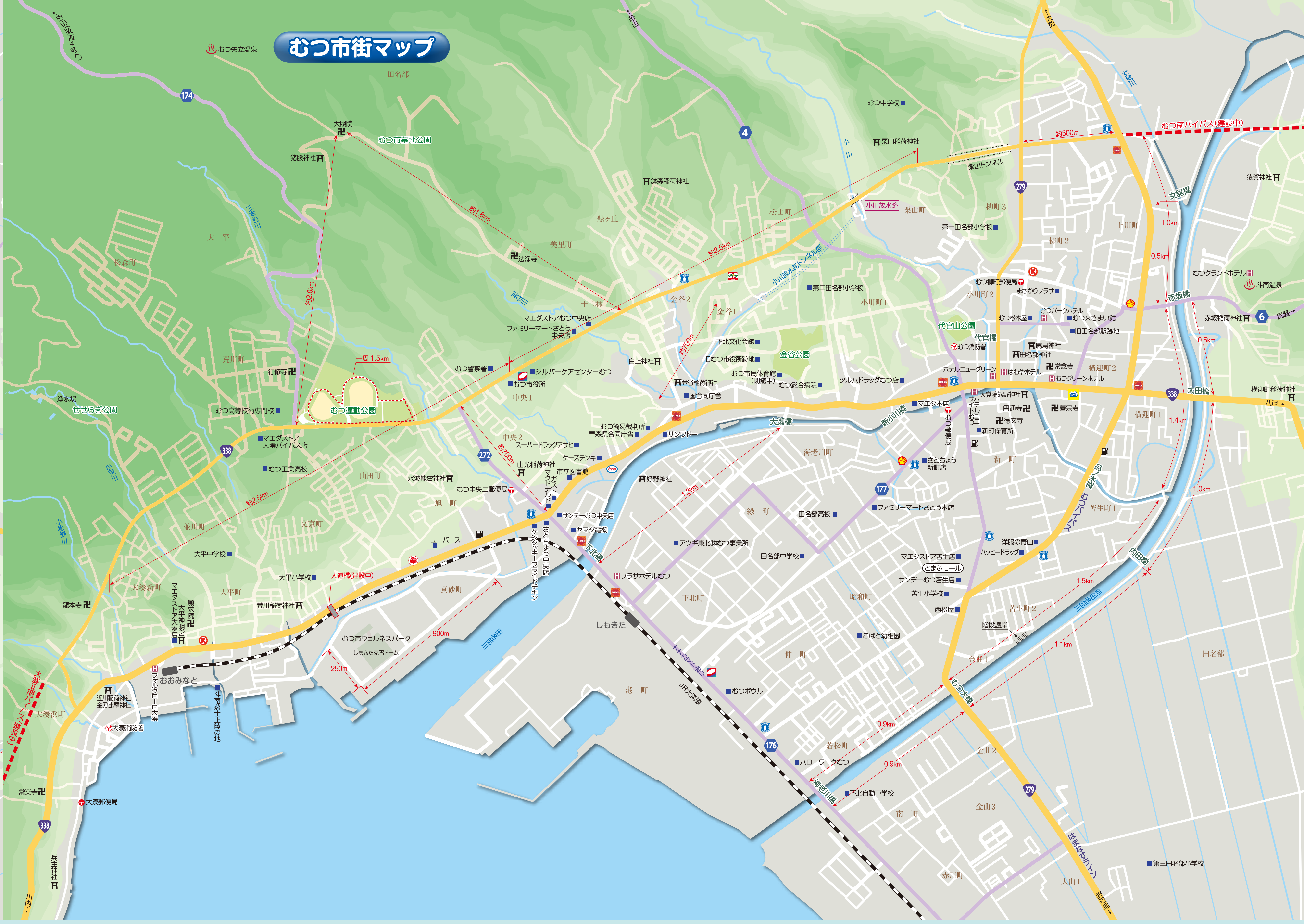
むつ市は田名部川沿いの平坦地と、釜臥山の裾野の斜面に市街が広がっています。同じ距離でも坂があるのとないのでは大違い。このため、緑色の濃さで高さをイメージし、公衆トイレ、コンビニ等散歩に役立つ情報を10のエリアに載せました。

さあ、このマップを片手に各エリアを歩いてみましょう。

（※本紙は地図ではありません。エリアをイメージしたイラストですのでご留意お願いいたします。）

下北地域県民局 地域整備部
〒035-0073 むつ市中央一丁目1－8
☎0175-22-8581（内線253）・0175-22-1231（直通）
〈平成27年3月〉

むつ市街マップ



1 田名部市街エリア

❶田名部神社

勧請の年代はつまびらかでないが、康永四年（1345）の銘がはいった鰐口（神社・仏閣の堂前につるした布の綱を引いて打ち鳴らす金属製の具）が残されていたと伝えられている。明治6年、田名部館跡にあった八幡宮に合祀されたが、いくらも経たずに現在地に復し、明治9年に田名部神社と名を改めた。

8月18～20日に行われる田名部祭りは下北一の祭り。20日の神輿渡御行列には、横迎町の稲荷山、小川町（こがわまち）の猩々山（しょうじょうやま）、柳町の大黒山、本町の蛭子山、新町の香爐峯（こうろほう）と、五つの町内の山車が続き、深夜11時過ぎの五社分かれで終了する。

❷常念寺

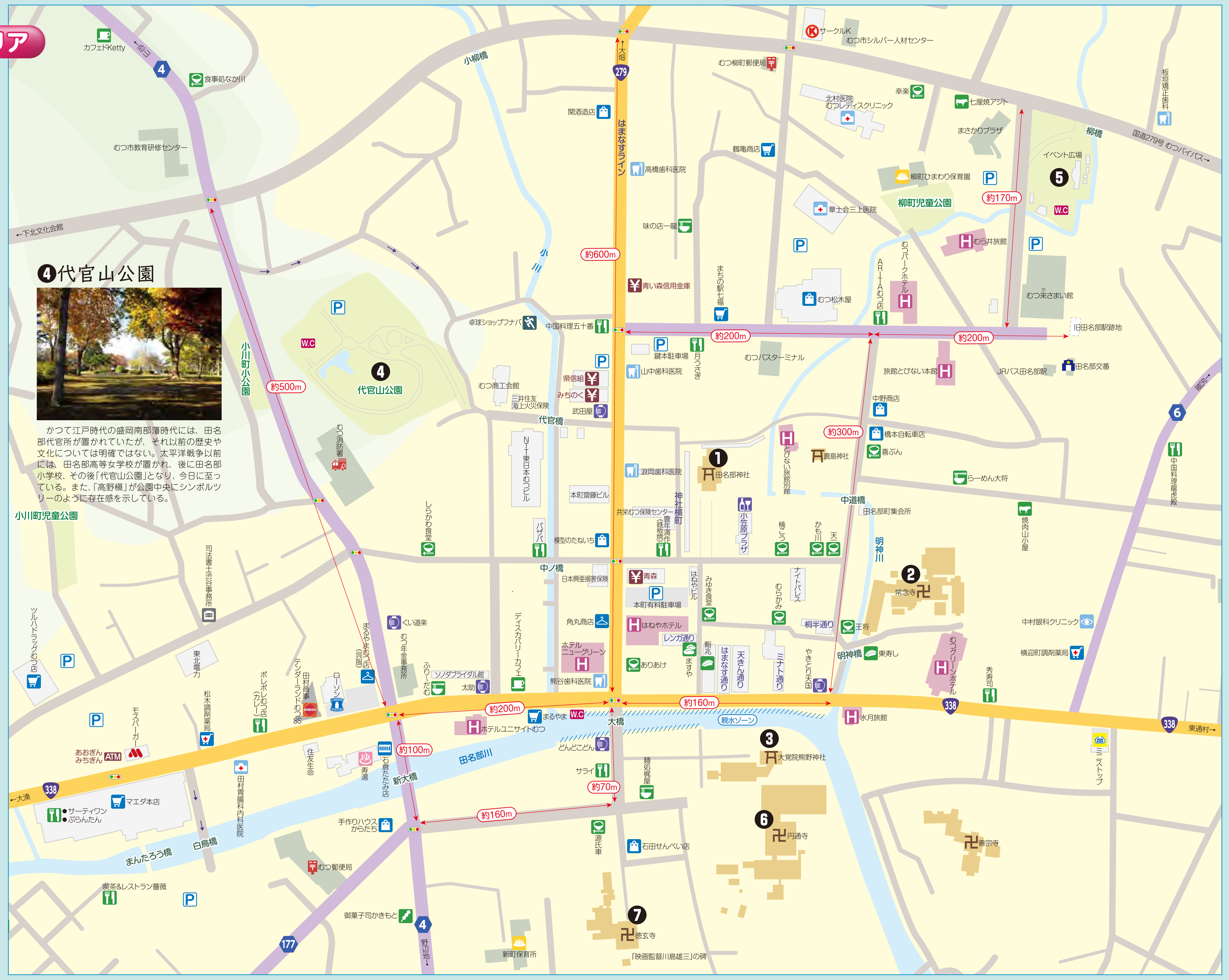
浄土宗、山号は不退山。慶長元年（1596）の草創といわれ、磐城の専称寺（福島県いわき市）八世・良潜の法子・龍山の開山と伝わる。龍山は良翁と号し、この人が八戸の櫛引から移したともいわれている。延宝3年（1675）、田名部の大火で類焼し、延宝6年に四世良法月西が入山して、貞享3年（1686）になって再建が成就した。寛永9年（1632）、南部28代重直が田名部巡視のとき御仮屋にあてられた。また、安永9年（1780）には、恐山支配をめぐって円通寺と争った蓮花寺を預かっている。

本尊の阿弥陀如来座像は、国の重要文化財指定を受けている。ほかに、円空の作という観世音菩薩像がある。

❸大覚院熊野神社

大覚院の祖先は肥前出身の大宝院真如坊で、大永4年（1524）来村し、釜臥山嶽大明神を管掌することになった。

観音像は、現在の大覚院境内の川沿いに鎮座した薬師堂に安置されていたらしいが、この馬頭観音は火伏せに御利益のある観音で、のちに隣接する円通寺慈眼堂に移安された。また大覚院の神殿には、16番札所の十一面観音が御神体として祀られている。33観音巡礼、29番札所。



❹代官山公園

かつて江戸時代の盛岡南部藩時代には、田名部代官所が置かれていたが、それ以前の歴史や文化については明確ではない。太平洋戦争以前には、田名部高等女学校が置かれ、後に田名部小学校、その後「代官山公園」となり、今日に至っている。また、「高野槙」が公園中央にシンボルツリーのように存在感を示している。

❺イベント広場

屋外多目的イベント広場で、陸奥湾特産のほたてをモチーフとしたオープン構造となっている。幅15メートル、奥行4メートルのステージもあり、各種集会・イベント等に利用できる。

イベント広場の向かいにはレストランや土産物店のある「むつ下北観光物産館（まさかりプラザ）」、隣には下北の観光・物産などの情報発信施設「むつ来さまい館」がある。

❻円通寺

曹洞宗、山号は吉祥山。大永2年（1522）創建。下総国（千葉県）東昌寺の末寺として東昌寺三世覚翁能正の弟子・宏智聚覚（こうちじゅがく）の開山といわれる。開基の根城南部氏は聚覚のすすめに従い、蠣崎の乱を平定した十三代政経追善のため創建したともいわれる。

貞観四年（862）に慈覚大師開山の伝説が残る恐山は、円通寺開山の聚覚によって再興され恐山菩提寺となり、地蔵堂を含む恐山全山が円通寺の所管となった。元禄年間（1688～1704）、恐山はもともと天台宗のものとする田名部蓮花寺との間に、恐山支配をめぐっての争いが起こったが、安永9年（1780）、蓮花寺は常念寺にお預けとなり恐山の支配権は円通寺のものと決まった。

寛政11年（1799）に十三世千明冠古が、恐山の檜1559本をもらい受け、円通寺本堂と庫裡、山門を再建した。冠古は菅江真澄（すがえますみ）と交遊し、よく俳諧を好んだ。なお享保11年（1726）、寺領五十石を受けている。明治四年の斗南藩移封のとき、藩主松平容大（まつだいらかたはる）の仮館となった。本尊は釈迦牟尼で、本堂わきの慈眼堂に観世音菩薩が安置されている。

❼徳玄寺

浄土真宗大谷派、本尊は弥陀如来。文禄3年（1594）に加賀の僧保玄が石沢（三戸郡倉石村）に庵を立て、保玄没後、子の専受が寛永2年（1625）に田名部赤平に移して再興したといわれる。その後明暦年間（1655～58）に現在地に移ったとされる。

現在の本堂は安政3年（1856）の建立。境内にはむつ市出身の映画監督川島雄三の碑があり、ほかに、明治の初め、廃寺となった蓮花寺から徳玄寺に移した芭蕉の句碑がある。

斗南藩移封時には斗南開発の館として利用された。

大覚院熊野神社からの景色（水月旅館方向）

大覚院熊野神社からの景色（ホテルニューグリーン方向）

新小川橋

白鳥橋

代官橋

大橋

映画監督川島雄三の碑（徳玄寺）

むつ来さまい館

2 むつ市役所・旧田名部川エリア

むつ市役所前の国道338号線には、市役所から大湊方向へ3.0km、栗山トンネル方向へ2.5kmの間に100mおきに距離標を設置している。

西へ約2.5km地点は小松野川橋付近で、歩くと約33分ほど。東へ約2.5km地点までは歩くと約31分。どちらも往復すると約1時間強の距離となっている。

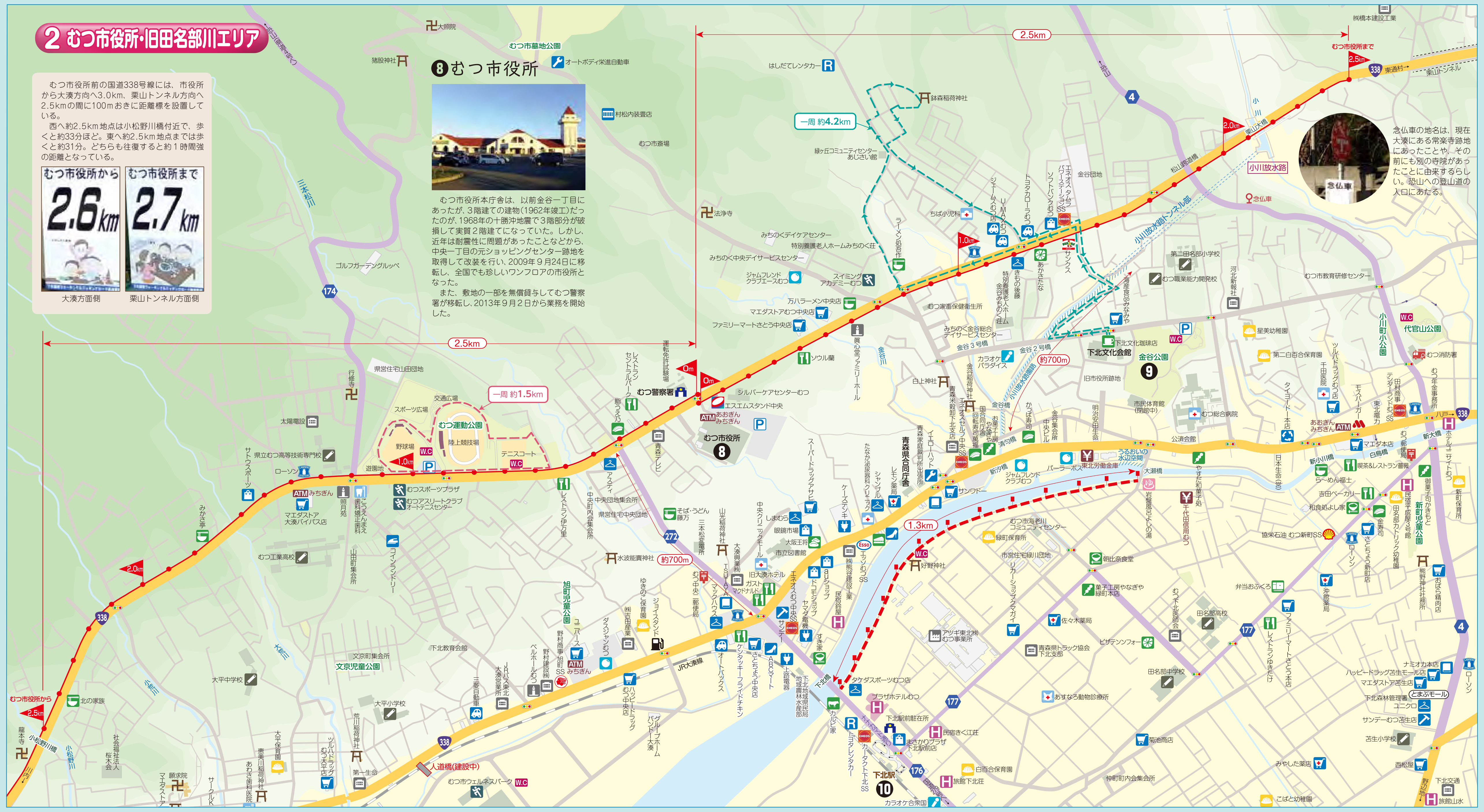
大湊方面側　栗山トンネル方面側

❽むつ市役所

むつ市役所本庁舎は、以前金谷一丁目にあったが、3階建ての建物（1962年竣工）だったのが、1968年の十勝沖地震で3階部分が破損して実質2階建てになっていた。しかし、近年は耐震性に問題があったことなどから、中央一丁目の元ショッピングセンター跡地を取得して改装を行い、2009年9月24日に移転し、全国でも珍しいワンフロアの市役所となった。

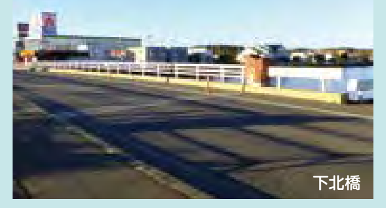
また、敷地の一部を無償貸与してむつ警察署が移転し、2013年9月2日から業務を開始した。

念仏車の地名は、現在大湊にある常楽寺跡地にあったことや、その前にも別の寺院があったことに由来するらしい。恐山への登山道の入口にあたる。



下北地域県民局を望む

金谷橋


下北橋

大瀬橋

❾金谷公園

金谷公園はむつ総合病院の山手にある公園で、いくつかのゾーンに分けて整備されている。子供たちが遊べる冒険広場ゾーン、中央に位置する噴水をメインとするカナール広場ゾーン、桜を配した桜の広場ゾーンと、子供から大人まで多くの人が楽しめる公園となっている。

❿下北駅

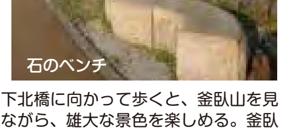
1939年、大畑線の開業とともにその分岐駅として設置された。大畑線は、1985年に下北交通に移管されたが、2001年に廃止された。

駅前の県道272号線の沿道にはナナカマドが植樹され美しい通りとなっている。

田名部川遊歩道

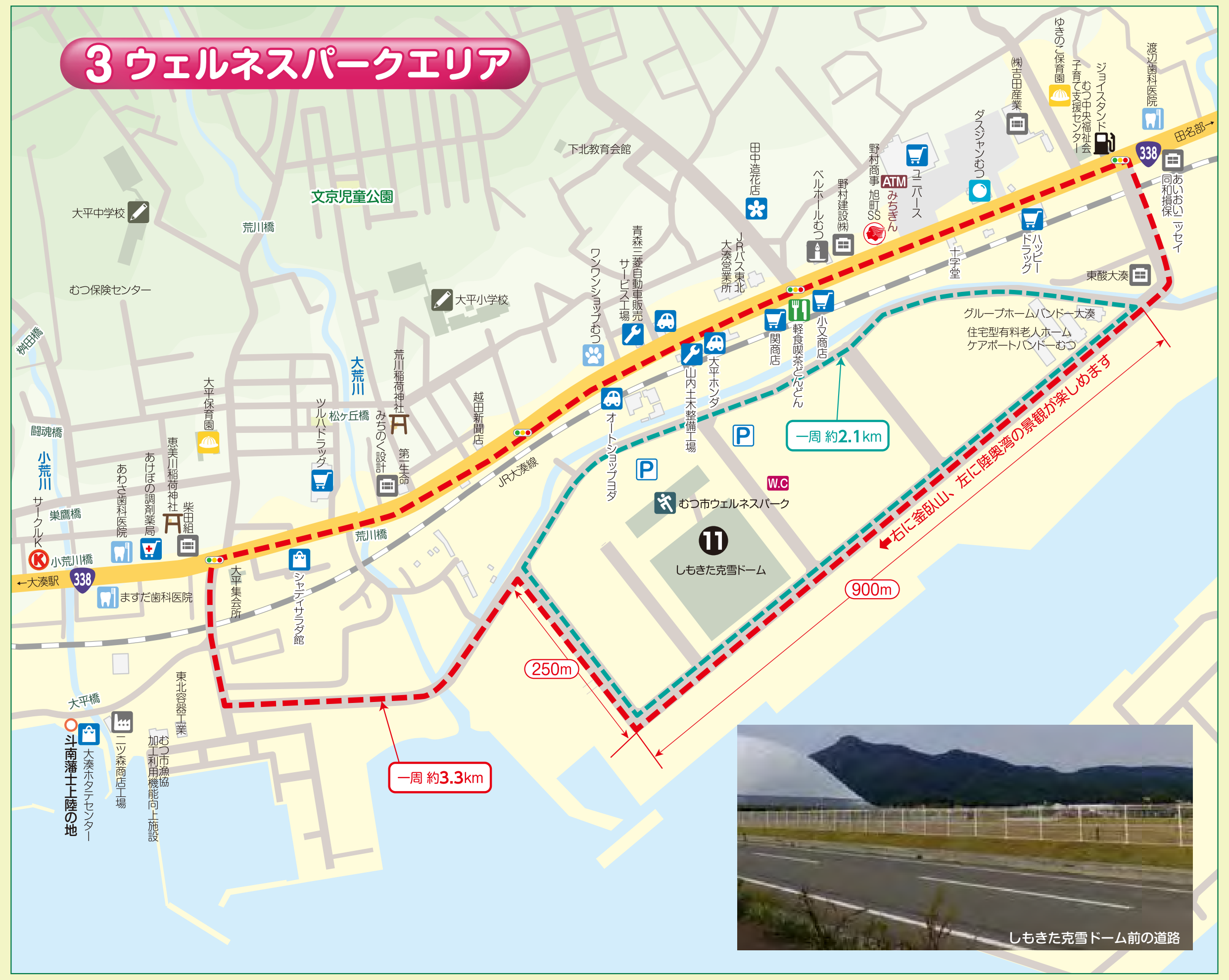
田名部川は市街地にありながら自然環境を多く残す川で、遊歩道も整備され、ウォーキングやジョギングロードとして市民に親しまれている。

大瀬橋付近は、水際にヨシ等の湿性植物群落とヤナギ等の河畔林が見られ、渡来する水鳥などを観察することができる。


石のベンチ

←下北橋に向かって歩くと、釜臥山を見ながら、雄大な景色を楽しめる。釜臥山は標高878.6m、下北半島で一番高い山である。

下北橋から大瀬橋までの1.3kmの遊歩道には太陽光発電照明付掲示板が設置されている。この「ふるさと掲示板」には地域の方々が掲示することができる。【連絡先】下北地域県民局地域整備部 建設管理課 TEL（0175）22-1231


3 ウェルネスパークエリア
一周 約2.1km
一周 約3.3km
900m
250m
⑪
しもきた克雪ドーム
むつウェルネスパーク
文京児童公園
小川放水路（栗山トンネル・栗山大橋）

しもきた克雪ドーム前の道路

小川放水路

←むつ市役所
栗山大橋
栗山トンネル→

平成６年９月23日　集中豪雨による被害状況

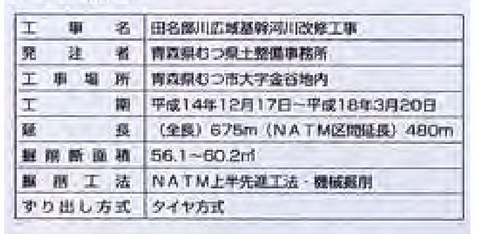
溢水する小川（平成６年９月23日深夜）

被災状況（平成６年９月24日）

田名部川の右支川にあたる小川は、洪水のたびに氾濫を繰り返しむつ市街地に大きな被害を与えていた（右写真）ため、小川の上流域8.6km²の流出を栗山町地内から金谷川に切り換える放水路を建設することになった。（放水路ルート上に台地があるため、この区域はトンネル河川となった。）

放水路が完成したことで、小川からの流出量のうち95m³/sが金谷川へバイパスされ、小川下流部の流出は、放水路下流域からの20m³/s程度の流出のみとなり、この結果、概ね50年に１回程度発生すると予想される洪水に対応できるまで治水安全度は向上した。

小川放水路トンネル工事の概要



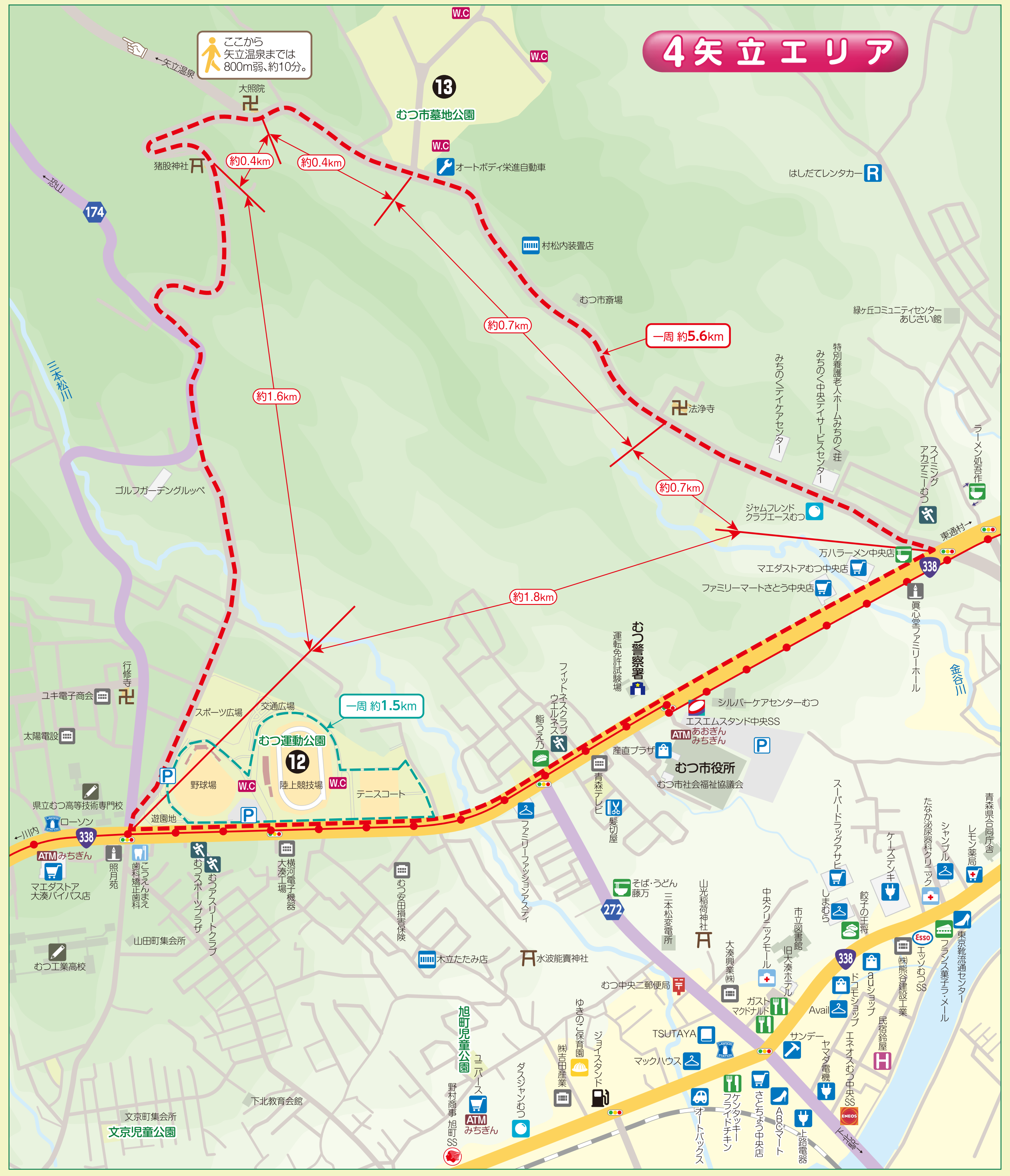
工事名	田名部川広域基幹河川改修工事
発注者	青森県むつ県土整備事務所
工事場所	青森県むつ市大字金谷地内
工期	平成14年12月17日～平成18年3月20日
延長	（全長）675m（NATM区間延長）480m
掘削断面積	56.1～60.2㎡
掘削工法	NATM上半先進工法・機械掘削
ずり出し方式	タイヤ方式

⑪ウェルネスパーク

ウェルネスパークは、しもきた克雪ドーム（108m×108m）とセンターハウス及びそれを結ぶ中庭がある。センターハウスにはトレーニングルーム、スタジオ、プールなど、多彩な施設・設備があり、豊富なプログラムに参加することができる。克雪ドームは、野球・サッカー・テニスなどのスポーツ利用をはじめ、一周約400mのウォーキングコースがある。

国道338号線からの出入り口が２ヶ所しかないので注意。

しもきた克雪ドーム


4 矢立エリア
ここから矢立温泉までは800m(約.約10分)。
⑬
むつ市墓地公園
一周 約5.6km
一周 約1.5km
⑫
むつ運動公園
野球場
陸上競技場
テニスコート
スポーツ広場
交通広場
遊園地
むつ市役所
むつ警察署
旭町児童公園
文京児童公園
文京町集会所
下北教育会館
338
272
174

⑫むつ運動公園

野球場、陸上競技場、テニスコート、スポーツ広場などを有する総合運動場。

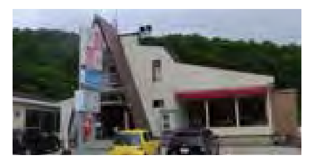
野球場の一塁側に釜臥山を望むことができる。また、小さめの道路や標識など、実物さながらの道路環境が設けてある交通広場、遊園地もある。春には公園内や外縁の桜が咲き、花見スポットとなっている。

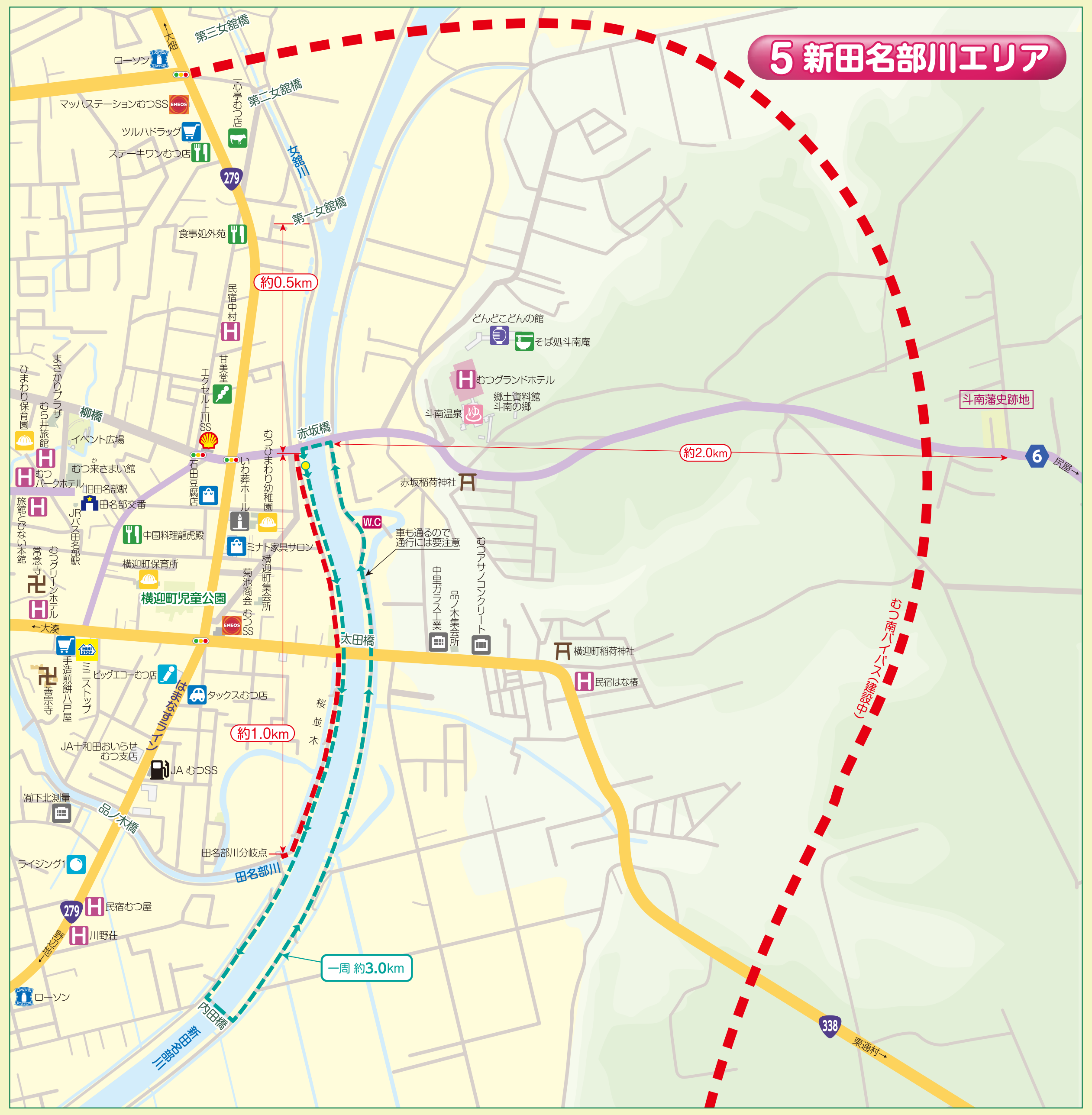
■スポーツ施設の利用時間
　午前９時から午後９時まで
■開設期間
　４月１日より11月30日まで

⑬墓地公園

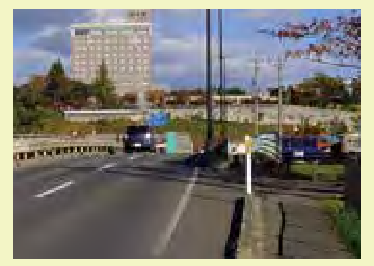
☞ 矢立温泉

むつから恐山に至る途中にある、自然に囲まれた山あいの温泉。キャンプ場やレジャー施設が整っており、家族連れでも楽しめる。




5 新田名部川エリア
一周 約3.0km
約0.5km
約1.0km
約2.0km
横迎町児童公園
新田名部川
内田橋
むつ南バイパス（建設中）
338
東通村→
ローソン

金谷橋



赤坂橋

太田橋

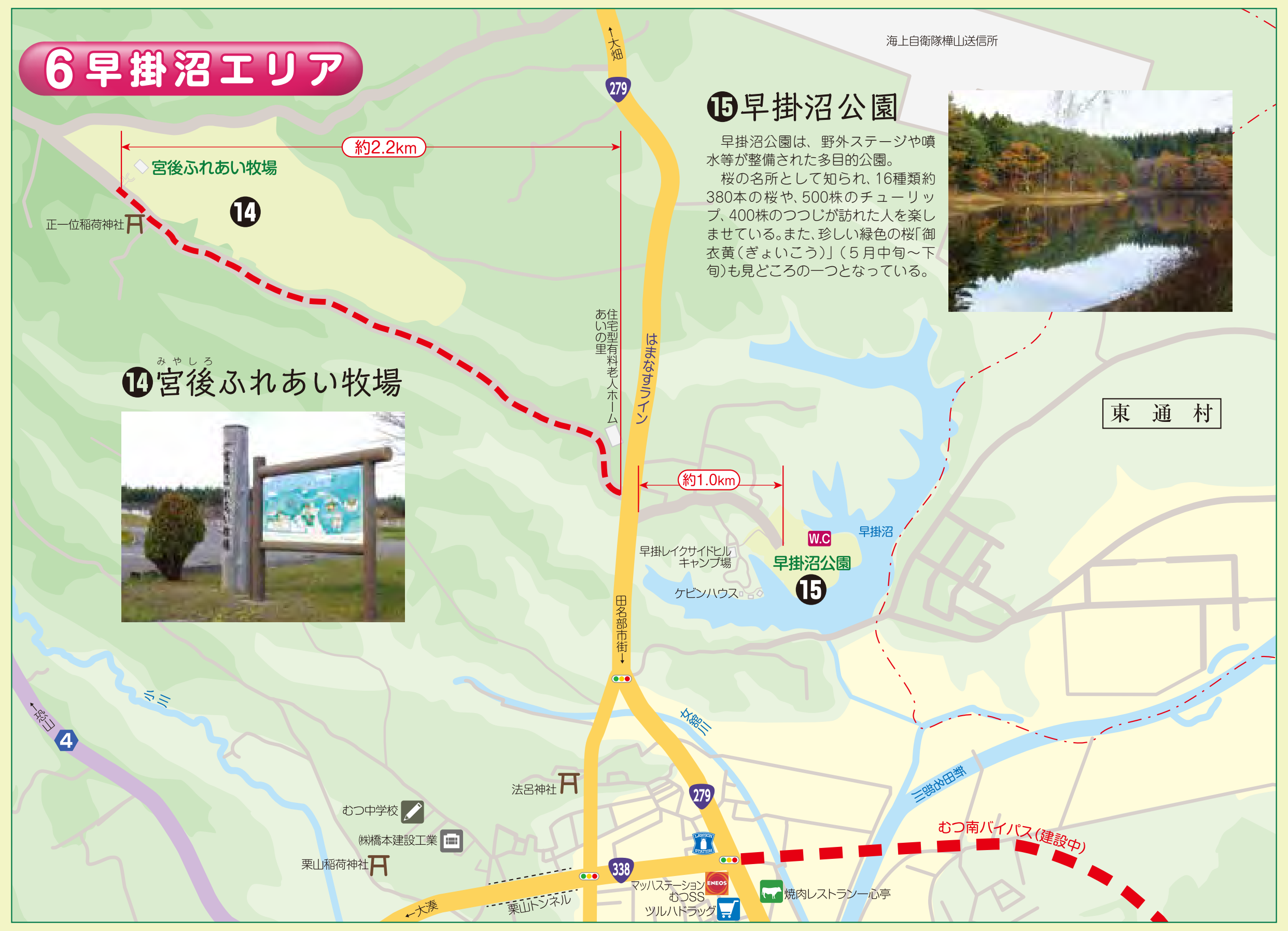
内田橋

女舘川

赤坂橋たもと

新田名部川遊歩道

分岐点


6 早掛沼エリア
約2.2km
宮後ふれあい牧場
⑭
正一位稲荷神社
住宅型有料老人ホーム あいの里
はまなすライン
約1.0km
早掛沼
早掛沼公園
⑮
早掛レイクサイドヒル キャンプ場
ケビンハウス
東通村
海上自衛隊樺山送信所
↑大畑
田名部市街↓
279
338
4
法呂神社
むつ中学校
㈱橋本建設工業
栗山稲荷神社
栗山トンネル
←大湊
マックステーション むつSS
ツルハドラッグ
焼肉レストラン一心亭
むつ南バイパス(建設中)
三田名部川

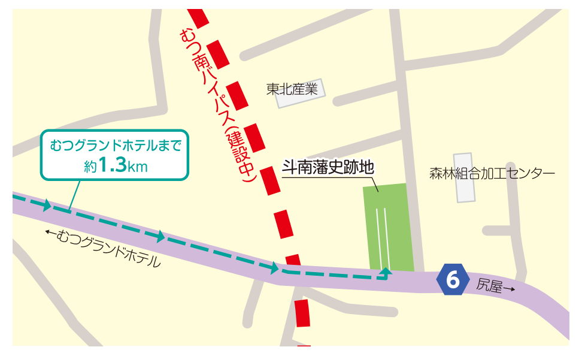
⑮早掛沼公園

早掛沼公園は、野外ステージや噴水等が整備された多目的公園。

桜の名所として知られ、16種類約380本の桜や、500株のチューリップ、400株のつつじが訪れた人を楽しませている。また、珍しい緑色の桜「御衣黄（ぎょいこう）」（５月中旬～下旬）も見どころの一つとなっている。

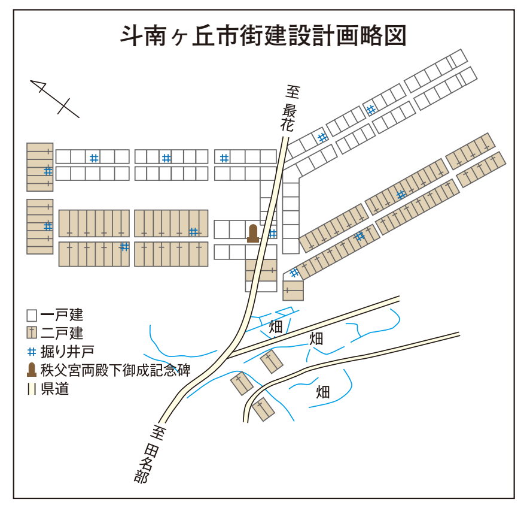
⑭宮後（みやしろ）ふれあい牧場

斗南藩（となみはん）史跡地


むつ南バイパス（建設中）
東北産業
むつグランドホテルまで 約1.3km
斗南藩史跡地
森林組合加工センター
←むつグランドホテル
6
尻屋→

戊辰戦争の敗北によって移住してきた旧会津藩士たちが、この新天地斗南で整備した斗南ヶ丘市街地の一角。昭和11年10月の秩父宮両殿下の下北御巡遊の際、この地を訪れたことを記念し、昭和18年７月、記念碑を建立。付近には斗南藩士移住当時の井戸や土塀跡などがある。

斗南ヶ丘市街建設計画略図


至最花
至田名部
畑
□一戸建
二戸建
# 掘り井戸
秩父宮両殿下御成記念碑
|| 県道

斗南ヶ丘市街地建設計画

斗南藩は、田名部川の流域に開けた平野をはさみ田名部の町に相対した妙見平と呼ばれる丘陵地帯を「斗南ヶ丘」と名付け、市街地を建設した。

一戸建約30棟、二戸建約80棟からなり、東西に大門を建築して門内の乗打ち（馬や駕籠などに乗ったまま通ること）を禁止し、18ヶ所の掘井戸を作り、一番町から六番町までの大通りによって屋敷割りして、１屋敷を百坪単位として土塀を巡らせて区画した。

斗南藩の軌跡

会津若松の鶴ヶ城が落城、会津藩が降伏したのは明治元年９月、東京で謹慎中だった藩主松平容保（かたもり）は死罪を免れ、かつて京都守護職として朝廷に力を尽くしたのをかわれ、明治２年11月、嗣子容大（かたはる）を立て、それまでの二十八万石から三万石に格下げして二戸・三戸・北の三郡を与えられ立藩を許された。

翌３年４月18日、三戸御役所において黒羽藩から引き継ぎを受け、藩庁を五戸町に置き斗南藩と称した※。

同年５月、斗南藩先発隊が田名部に到着、翌明治４年２月には、藩庁が五戸から田名部に移り、三歳の容大がはいり円通寺を仮館とした。このころから旧会津藩士の北上が続々と始まった。蒸気船で海路を向かった者は、大平（おおだいら）や野辺地、八戸などに入港し、そこから入植地の村へと移っていった。一方陸路で移転した者たちは悲惨な旅路であったという。目的地に着く前に命を落とした者も少なくなかった。

どれだけの旧会津藩士が下北に移住してきたのかはっきりとはわかっていないが、陸奥の新領地に移住した戸数は、一説に4,300戸・17,000余人といわれている。このうちむつ市に移住したのは、田名部に400余戸・1900人余、安渡（あんど）・大平140戸・630余人。そして斗南ヶ丘に200戸、松ヶ丘に20戸と伝えられている。

当時田名部の戸数は600戸、人口3,000人と推定してこれを比較すると、もともとの人口の六割か七割の移住者が加わったことになる。

新天地に移住した藩士たちは、多くの苦難に遭遇したが、会津が受けた辱めをすすぐまで生き抜けと奮闘し、斗南丘と松ヶ丘に町の建設をはじめとして歯を食いしばって農地開墾に従事した。また、安渡湊を奥羽の長崎にしようとして大湊と地名を改めて町の発展を図ったり、円通寺に斗南藩校日新館を開校したほか領内各地に分校にあたる郷学校を開設した。

このように斗南藩は、貿易と農業授産によって藩財政の基盤を固めようとしたものの、明治４年７月14日の廃藩置県のために中止となり、会津人の多くは会津や東京など全国各地に移っていった。

※「斗南藩」藩名の由来……中国の詩文「北斗以南皆帝州」からとったものといわれている。意味については諸説あり、北海道以南はことごとく天子の領土であるから北へ移されても天領から追放されたのではないという意味からという説、「斗南」とはいつか南へ帰るという意味であり、薩長政府に対する反骨の心が含まれているという説がある。

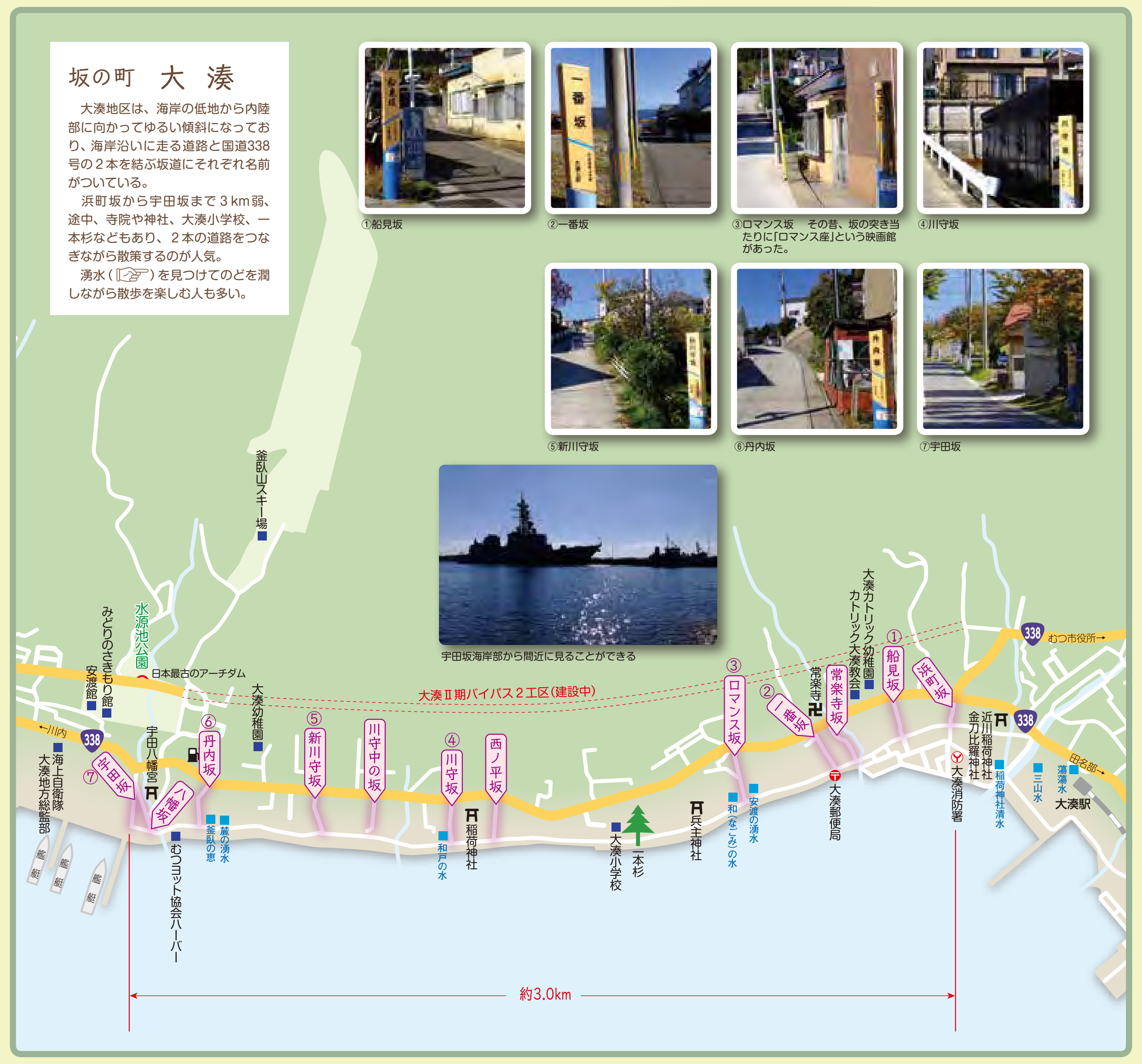
参考文献　『むつ市史』　田中誠一著
『下北半島の歴史と民俗』
下北半島の歴史と文化を語る会編著

坂の町　大湊

大湊地区は、海岸の低地から内陸部に向かってゆるい傾斜になっており、海岸沿いに走る道路と国道338号の２本を結ぶ坂道にそれぞれ名前がついている。

浜町坂から宇田坂まで３km弱、途中、寺院や神社、大湊小学校、一本杉などもあり、２本の道路をつなぎながら散策するのが人気。

湧水（☞）を見つけてのどを潤しながら散歩を楽しむ人も多い。


釜臥山スキー場
水源池公園
日本最古のアーチダム
みどりのさきもり館
安渡館
大湊幼稚園
大湊Ⅱ期バイパス２工区（建設中）
①船見坂
②一番坂
③ロマンス坂
④
⑤新川守坂
⑥丹内坂
常楽寺坂
浜町坂
常楽寺
カトリック大湊教会
大湊カトリック幼稚園
近川稲荷
338
むつ市役所→
←川内
約3.0km

①船見坂

②一番坂

③ロマンス坂　その昔、坂の突き当たりに「ロマンス座」という映画館があった。

④川守坂

⑤新川守坂

⑥丹内坂

⑦宇田坂

宇田坂海岸部から間近に見ることができる

⑯順法寺城跡

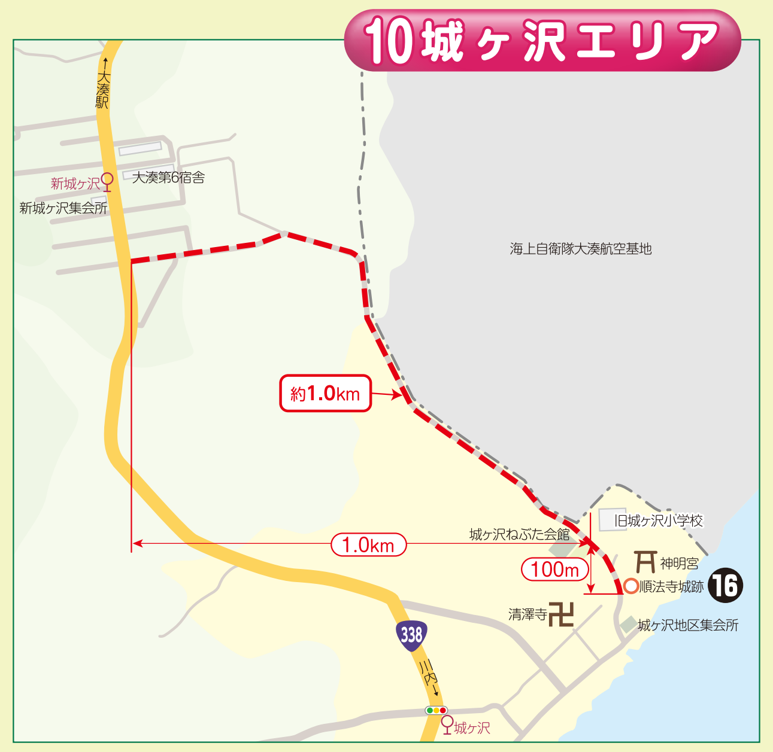
築城年代は定かではないが、宝治年間（1247～1249年）に、宇曾利郷（岩手から北の糠部五郡の一つ、下北半島のこと）の領主安東盛親によって築かれたと言われる。後醍醐天皇の孫の良尹王（ながただおう）が、南朝方の南部氏に庇護され居城とし、北部王家（きたのべのおうけ）として約100年栄えたといわれる。

1448年蠣崎城城主蠣崎蔵人は十三湊の安東氏とともに南部氏を攻撃し一時は七戸城を陥れるが、大軍を擁する南部氏に平定される。蠣崎蔵人は蝦夷が島へ逃げ、松前氏の始祖となったともいわれる。順法寺城もこの乱で廃城となった。

旧城ヶ沢小学校

清澤寺

城ヶ沢ねぶた会館


10 城ヶ沢エリア
↑大湊駅
新城ヶ沢
新城ヶ沢集会所
約1.0km
1.0km
100m
⑯
338

⑰水源池公園

大湊第一水源地堰堤（日本最古のアーチダム）は、下北半島で一番高い釜臥山を源流とする宇田川をせき止めたもので、提高7.9m、提長26.5m、貯水量約5,000m³/日で、日本で初めて試みられた厚アーチ式の石造り堰堤である。1984年（昭和59年）にむつ市文化財、1993年に青森県文化財に指定された。

この堰堤は1909年（明治42年）に完成し、1945年（昭和20年）までは海軍専用水道として使用されたが大湊町に引き継がれ、1976年（昭和51年）までむつ市の上水道事業水源地として利用された。

現在は水源地公園として市民の憩いの場となり、桜の季節は人気のスポット。また、平成27年春には「北の防人館」がオープンする。

⑱海上自衛隊 大湊地方総監部

戦艦が寄港中は近くまで行って見ることができる。

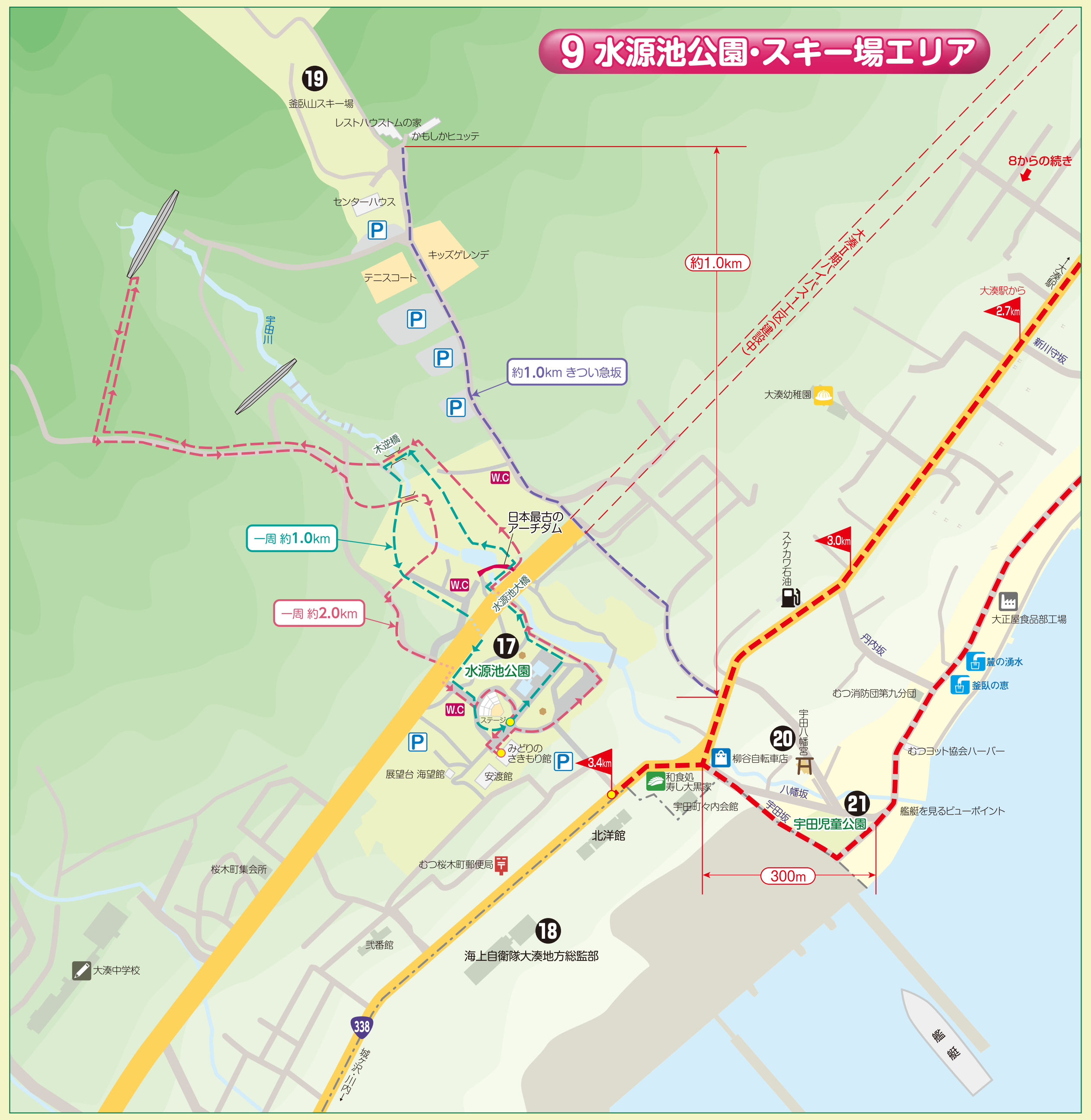
海上自衛隊大湊地方総監部広報係
TEL 0175-24-1111（内線2304）

⑲釜臥山スキー場

釜臥山を目の前にして滑ることのできるコースがあり人気。また、海岸から２kmしか離れていないこともあって、眼下に海上自衛隊の基地を望むこともでき、寄港中の戦艦が見えることもある。晴天時には八甲田連峰や尻屋崎、北海道までが見渡せる。オフシーズンの散歩コースとしても景観のすばらしさでおすすめのコースとなっている。

⑳宇田八幡宮

㉑宇田児童公園


9 水源池公園・スキー場エリア
⑲
釜臥山スキー場
レストハウストムの家
かもしかヒュッテ
8からの続き
約1.0km
約1.0km きつい坂道
一周 約1.0km
一周 約2.0km
日本最古のアーチダム
⑰
水源池公園
⑳
㉑
宇田児童公園
⑱
海上自衛隊大湊地方総監部
300m
338

㉒常楽寺

釜臥山を目の前にする常楽寺は、従前はむつ市田名部字念仏車に建立されていた。応永３年（1396）４月紀州根来山の所化、良海が草創したといわれ、旧南部藩領に属する田名部代官所の館に勧請せる八幡宮の別当所あるいは祈祷寺として、南部藩の加護を得た寺院だった。明治の初めに現むつ市大湊へ移転、真言宗の釈迦山神宮寺に合併され八峰山常楽寺と改めた。

円空作の如来像があり、県重宝の指定を受けている。

㉓大湊小学校

明治７年２月１日、大湊村常楽寺を仮校舎として創立。児童は男子84名、女子４名、教員男子２名で発足した。明治31年、大湊上町43番32号の現在地に校舎を新築したが、昭和33年１月１日に校舎が全焼、翌34年７月、全国でも珍しい円形鉄筋３階建の新校舎が落成した。その円形校舎も老朽化がすすみ、平成10年に解体されて現在の校舎が建った。

校地の護岸に立っている一本杉は樹齢およそ250年といわれ、大湊のシンボルとして親しまれている。

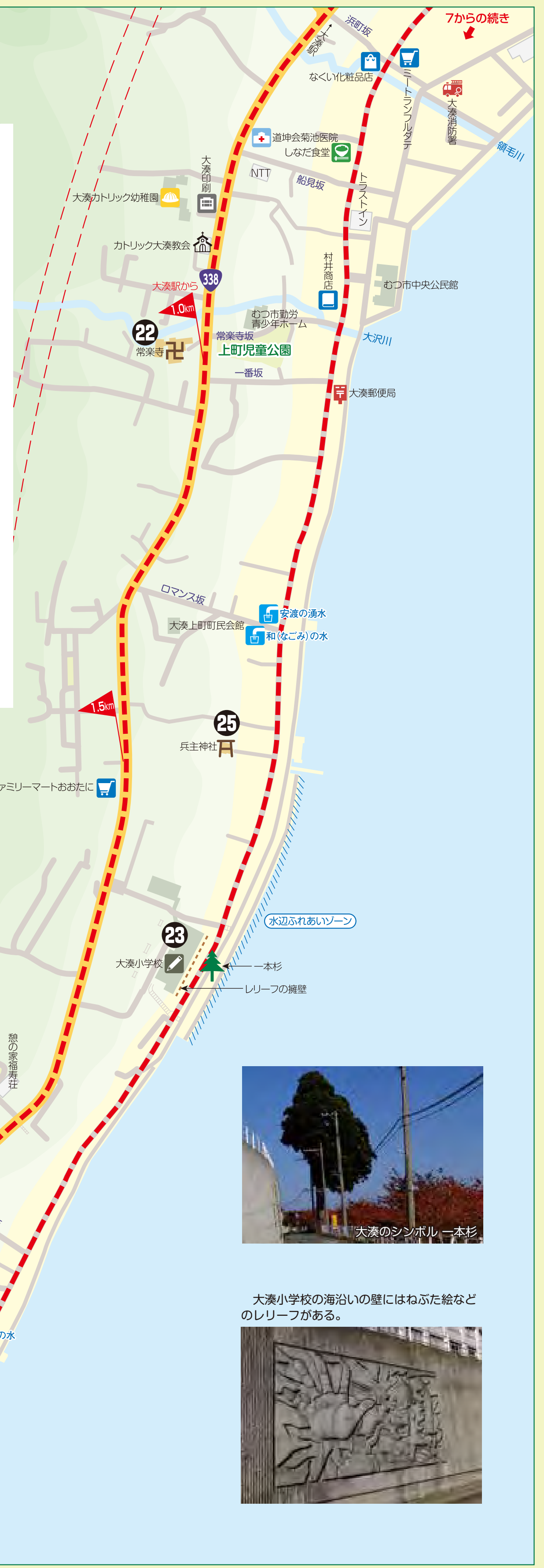
㉔稲荷神社（川守）

寛政３年（1792）川守村氏子の再建と伝えられる。明治維新前は稲荷大明神と称えられ、明治８年２月28日に稲荷神社と改号し村社となる。毎年９月の例祭には神楽の先導のもと、献幣使参進し斎行、神楽が奉納され船山車が町内を運行し賑わう。

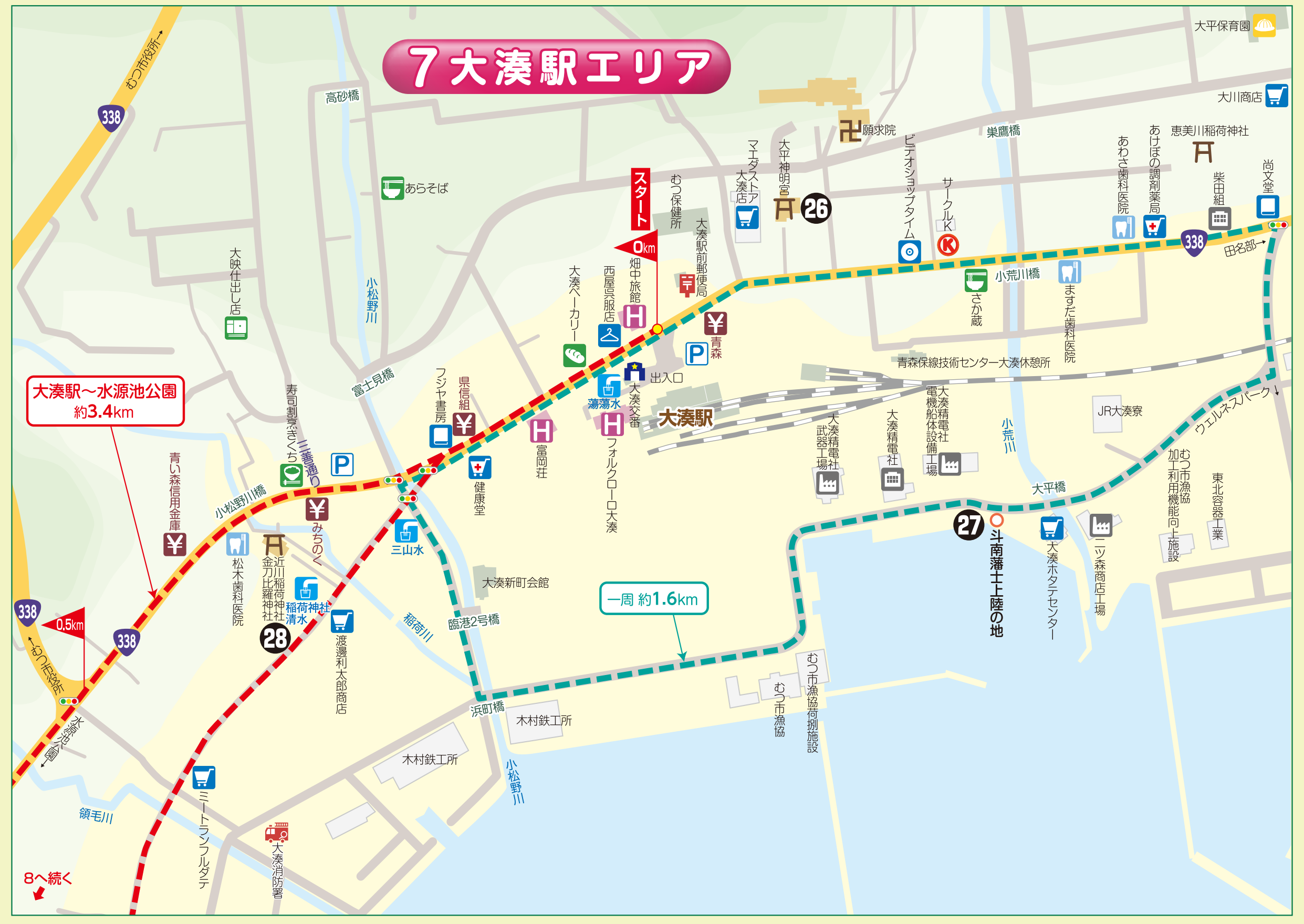
㉕兵主（ひょうす）神社

延宝７年（1679）の再建とされている。祭神は伊弉諾命。釜臥山下居兵主大明神ともいう。伝説によると、貞観年中（859～877）、慈覚大師巡錫してこの地に至り、釜臥山に上ったときに鴉が釜臥山を越えて北方に去るのを見て、行く手に必ず平地があり、霊場にふさわしい場所があろうと思い山上に座禅すること二十日にして、釈迦如来、薬師如来の像を刻み、山上に安置、そして遂に恐山を開くことができたという。後に正一位釜臥山嶽大明神と号し、恐山の奥院と称した。修験田名部大覚院で司り、その後の変遷があって、明治２年の神仏混淆の命により兵主神社と改め、大湊の鎮守となった。

ここは釜臥山の表参道に位置し、登山参拝者が禊をするならわしであった。正津川（大畑町）にある光主神社が裏参道の下氏宮にあたる。神社が所蔵する奉納船絵馬は、むつ市の指定文化財になっている。旧村社。


8 大湊海沿いエリア
7からの続き
浜町坂
←大湊駅
なくい化粧品店
1.5km
2.0km
2.5km
ファミリーマートおおたに
大湊Ⅱ期バイパス２工区（建設中）
㉓
大湊小学校
一本杉
レリーフの擁壁
水辺ふれあいゾーン
川守児童公園
憩の家福寿荘
川守団地
むつ消防団八分団
西の平坂
㉔
稲荷神社
神楽堂
川守会館
川守坂
和戸の水
ヴィラ中の坂
川守中の坂
水源池公園→
338
9へ続く
大湊のシンボル 一本杉

大湊小学校の海沿いの壁にはねぶた絵などのレリーフがある。


7 大湊駅エリア
大湊駅～水源池公園 約3.4km
スタート
0km
0.5km
一周 約1.6km
大湊駅
出入口
㉖
大平神明宮
㉗
斗南藩士上陸の地
㉘
近川稲荷神社 金刀比羅神社
稲荷神社清水
蕩蕩水
三山水
願求院
恵美川稲荷神社
大湊新町会館
ウェルネスパーク↓
田名部→
←むつ市役所
338
小松野川
8へ続く

㉖大平神明宮

元和元年（1615）氏子の勧請にして鎮座。明治維新前は神明社と称え、氏子・崇敬者に信仰された。明治８年２月28日に神明宮と改号し村社に、明治40年４月19日、神饌幣帛料供進指定神社となる。

祭典後神楽の奉納、船山車が町内を運行する。境内には夜店が並び賑わう。

㉗斗南藩士上陸の地

明治３年６月10日、新潟から海路をたどって藩士達が上陸した地のひとつがここ。石碑は平成２年、会津鶴ヶ城の石垣に使用されている慶山石を用い、会津若松市を望む方角に設置された。

碑文の揮ごうは会津松平家第13代当主松平保定氏によるもの。

㉘近川稲荷神社 金刀比羅神社

祭神は倉稲魂命と大物主命。明治時代、両者とも廃社となったが、ほどなく元に戻り同じところに祀られた。

金刀比羅神社には船絵馬が所蔵されてある。

釜臥山を間近に仰ぎ見ることができる

☞ 大湊湧水群

大湊地区は後ろに釜臥山を控えて豊富な水を蓄えており、海沿いの道にはいたるところに湧水がある。誰でも気軽に飲めるようにコップが用意されて名前もついているところもあるので、坂の散策とあわせて湧水を探しながら歩く人も多い。名前のついている場所は８ヶ所。

①蕩蕩水	②三山水
③稲荷神社清水	④安渡の湧水
⑤和（なごみ）の水	⑥和戸野水
⑦麓の湧水	⑧釜臥の恵み